

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 1月 27日

公表: 令和 5年 月 日

事業所名 チャイルドデイケアほわわ名古屋ヶ丘

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・利用者が多い日は動線に注意している ・感染症対策に配慮した距離感にも注意している	
	2	職員の配置数は適切である	5		利用者に応じて必要な人数の支援者が配置されている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		・エレベーターやスロープ、子どもトイレ、手洗いの設置を行っている ・歩きやすさや滑りにくさに配慮したマットを選んで使用している ・写真やイラストを用いて一日の予定や当番などを伝えている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	支援の振り返りと目標設定を毎日行い、非常勤も含めた支援者への共有を日々行っている	業務改善を図るためのPDCAは定期的な仕組みにしていきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		外部評価の機会を得て支援の質の向上につなげていきたい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		法人から都度研修案内がされており、社内・社外の研修に積極的に参加している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		年に2回面談を行い、計画作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・アセスメントツールを用いて子どもの状態やご家族の意向を確認している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		保育士をメインに看護師、指導員と相談しながら立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・固定化しないよう努力している ・大きな公園や動物園へのお出かけ、季節のイベント等を行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4		長期休暇のみの利用が多い
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		前日に翌日支援について打ち合わせ たうえで、毎朝打ち合わせを行い、スケジュールや役割分担を確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		前日に翌日支援について打ち合わせ たうえで、毎朝打ち合わせを行い、スケジュールや役割分担を確認している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		利用記録に記録を残すようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		定期的にモニタリングをして個別支援計画の作成を行っている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		ガイドラインにあわせ活動を組み立てていく	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	3	会議が開かれるときには最もふさわしい者が参加する	担当者会議が開かれておらず該当案件なし
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2	就学支援の一環で特別支援学校の職員を招いて学校の説明会を行った。	利用が年に1~2回長期休みのみの利用者が多く、学校との連携ができていない 情報共有を図れるようにする
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5		・主治医や訪問医との連絡体制がある ・月に一度嘱託医と会議を行っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4		該当児がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		連携を図っていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2		交流を図っていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		参加を検討していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		支援後の引継ぎや、電話等で状況の共有を行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		日々のコミュニケーションの中で相談・助言の機会はあるがプログラムとしては確立していない。今後検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		ご相談があれば都度聞き取りを行い、内容について検討し必要な支援や情報収集などが出来るように努力している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1		サービス利用児が少ない。今後検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		月に一度発行している	
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報の取り扱いについて毎年度同意書を取っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急対応は契約時に作成し、保護者と半年に一度内容の確認を行っている。 ・感染症マニュアルを策定している。 	・防犯マニュアルも策定していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		火災や地震に備えた避難訓練を月に一度実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		管理者レベルでの研修の実施スケジュールについて議論はされているが、まだ研修は実施されていないため今後検討していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		個別支援計画に記載し、保護者に説明をしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		該当児がいる場合には、食器やスポンジなどの共有を避け、物品の保管場所を分ける等を気をつけて行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書に記載し支援者間での共有を行っている ・過去の事故報告書やヒヤリハット集をいつでも閲覧できるようにしている。 	